

# 予算決算



## 一般会計補正予算

### ◎総務部所管

**問** DX推進業務効率化促進事業に関するPC端末整備費用が増額しているが内訳は。 **田中**

**答** タブレット対応型ノートパソコン購入費用のほかに、基本ソフトウェア、充電保管庫が必要となったため約200万円を増額した。

**問** 議員のタブレットパソコンのセキュリティ管理体制は。 **藤岡**

**答** 基本的には職員が使用しているパソコンと

## 新型コロナウイルス感染症対応「地方創生臨時交付金」関連事業などを可決

同じ扱いになり、持ち出し禁止とし、議会事務局で管理する。

**問** 難燃性素材の消防団活動服を配備するが、更新年数の基準を定めて運用しているのか。

**田中**

**答** 更新年数は基本的に法的な定めがなく、本町においても更新年数を明確には定めていない。状況に応じて更新していく。

**問** 夏、冬服を廃止し合服で統一することによる、コスト削減見込み額は。 **田中**

**答** 約50万円削減できると見込んでいる。

### ◎出納局所管

**問** 電子入札システム導入により、入札参加者の交通費や人件費は削減できる一方、システム導入後の年間ランニングコストは。 **田中**

**田中**



**答** 入札1件当たり1万円の負担金が必要となる。令和2年度の入札実績で概算すると運用費用は18万円である。

### ◎産業建設部所管

**問** 港湾は県の管理である。漁船引つ張り台車改修工事において、県から補助金は交付されないのか。 **村井**

**答** 港湾部分は愛媛県の管理だが、漁船引つ張り台車は町管理であるため、町で予算を組んで対応する。

**問** 町道筒井徳丸線舗装補修工事に関して、工法変更といふことだが、他の箇所もこの工法で修繕を行うのか。また、工法変更による効果は。 **稲田**

**稲田**

**答** 約3千平方メートルの補修を予定しているが、舗装補修工事は来年度以降も舗装の状態が悪いところについては、引き続き行う予定である。

**問** 橋梁長寿命化修繕と舗装長寿命化修繕事業の歳入財源に関して、国費の補助率が例年対比、約10%低いため、町の持ち出しが増えているが。 **田中**

**答** 今年度は、町の要望額に対し国費の配当が少なかつたため、町の負担が増えている。

**問** 計画している町道西48号線の道路改良を今後、西へ延伸する予定は。 **稲田**

**答** 現在計画している区間は、地元からの要望があり事業化している。



道路拡張場所の確認（西古泉）

橋梁は5年に1回点検が義務化されているため、補助金が減ったからといって点検数を減らすということはない。

**問** 舗装補修は、対象事業の50%が補助金になるが、施工範囲を確定する中で、区切りのいいところまで工事をする必要があるため一般財源を充てるようにしている。

**答** 基本は個人が処分するものであるが、廃船については船番号も確認できない状況で、船自体の原形もとどめていない。このまま放置すると、近辺にゴミを不法投棄される恐れがあるため環境整備も含めて町が処分することとした。

**問** 港湾に廃棄されている所有者不明の廃船をなぜ町が処分するのか。 **村井**

**答** 基本は個人が処分するものであるが、廃船については船番号も確認できない状況で、船自体の原形もとどめていない。このまま放置すると、近辺にゴミを不法投棄される恐れがあるため環境整備も含めて町が処分することとした。